

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'97
12

月号【1日発行】



いまを話す

かわさき総合ケアセンターの実現に奔走の
市立井田病院長 岡島 重孝さん
非常識ノ、悲惨な生の容認
人間の尊厳保つ医療へ緩和ケア病床



ますます好評

はりきつてますグループ紹介

■ほんねインタビュー いまを話す
総合ケアセンター実現に奔走の
岡島重孝 井田病院長 3

非常識！「悲惨な生」容認
人間の尊厳保つ医療へ

■はりきってます グループ紹介 8

異文化学び交流の輪広げる

中原国際子育てひろば

歴史めぐり歩きを楽しむ

川崎史游会

◆ダイオキシンを考える 10

●学習・文化情報 11

□ミニニュース 14

□編集後記 裏表紙

◇表紙絵……

枳形山から望む早朝の向ヶ丘遊園・登戸

杉本 繁さん

(小誌は再生紙を使用しています)

お勧め本

生涯教育を総合的考察

「未来創造学としての生涯教育」

―野村生涯教育原論―野村佳子著

(光村教育図書、二千五百円)

中原区北谷町、関崎益男さん

『生涯教育』がなぜいま世界的に

脚光を浴び、教育用語として定着し

てきたのか、その今日的意義を、単

に新しい教育情報のひとつとしての

理解に終わることなく、生まれ出る

背景となる条件を、社会的、時代的

さらに思想的、倫理的見地を総合し

た立場から考察する必要があるまし

よう。…生涯教育という新しい教育

概念を生み出す動機や背景を明確に

男性にも有益な入門書

「女性学への招待」新版井上輝子著

(有斐閣選書、千六百円十税)

麻生区白山、権野和枝さん

「本書は：読者を女性学に招待す

るために書いた」と著者は「あとが

き」で記しています。「女性学を学ぶ

のは初めて」という人に「女性学と

はどういうものなのか、何を問題に

しているのかを知ってほしい(略)

女性はもちろん男性にとっても女性

がいま直面している問題を知ること

は有益であろう」と誘っています。

今回、新版化されたのは「パート

タイム労働法の制定や育児休業法の

することによってのみ、生涯教育と

は何か鮮明になり、生涯教育の目

的が明確になります。さらに生涯教

育が目的とするところを見失わない

ことになりましょう」と第一章で述

べています(・印筆者)。

著者は、一九七〇年に第一回生涯

教育全国大会を主催。以後一九九七

年で二十九回を数えました。

生涯教育の父、ポール・ラングラー

ン博士からのメッセージも寄せられ

ています。

生涯教育に関心のある人の必読の

書であり、世界の教育史に残る名著

となるでありましょう。

改定、介護休業法の制定」など社会

状況の変化があります。内容は、つ

くられる女の子▽教科書の中の性差

別▽母性愛は近代の産物▽産む、産

まないは、女が決める？▽疑わしい

3歳児神話▽矛盾をかかえこむパー

トタイムマァ▽男性の家事・育児分担

を進めるために▽変わる女の一生な

ど。読者は目からウロコは必須です。

一九九五年の北京世界女性会議は

「世界中の女性の地位向上とエンパ

ワーメント(力をつけること)の推

進」をめざし、行動綱領を採択して

います。世の中の動きに遅れたくな

い人の必読書！。

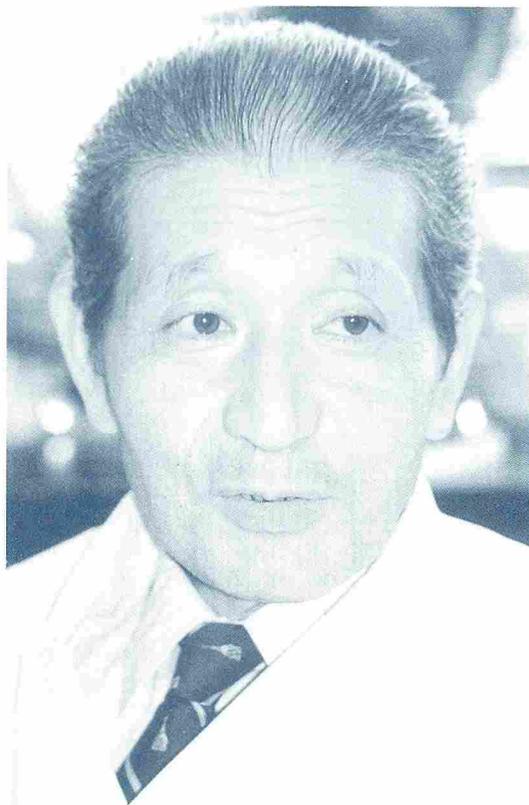
「お勧め本」欄へご投稿のお願い 本の題名、著者、出版社、価格、あなたの住所・氏名を明記。16字取り25行前後の読後感をお寄せ下さい。見出しは編集チームで付けます。

いまを話す

ゲスト

総合ケアセンターの実現に奔走の
岡島重孝・井田病院長

Vol. 60



——末期患者の苦痛や不安を和らげ、人間としての尊厳を保ったまま終末を迎えられる「緩和ケア病床」が井田病院にあります。政令指定都市の公立病院としては初めて設けられたそうですね。

岡島さん ええ、平成六年十二月でした。四室四床のモデル試行が始まったのは。

——緩和ケア病床が必要になった背景は。

岡島さん 昔は伝染病とか栄養不良などで多くの方が死にました。今は生活環境の改善と医学に伴う

非常識な「悲惨な生」の容認

人間の尊厳保つ医療へ

緩和ケア
病床

日本は世界的長寿国。「人生わずか五十年」は遠い昔。いまは、「人間としての尊厳を保つたまま、人生の終末を迎えられるか」が問われる。川崎市立井田病院の岡島重孝院長は「これまでの医療の常識は、病気とことん闘う」で、過剰治療をして「患者の生きる内容を悲惨なものにした。病院の常識が一般社会の非常識だった」と断言。三年前、同病院内に設けた「緩和ケア病床」について、「人間の最期を大切にすることは、一般の常識では当たり前」と事も無くいう。「生死についての判断の主体は患者」との立場からインフォームド・コンセントの重要性を説く。市民の活力で「病院全体を癒しの環境」に変えもした。インタビューは椎野和枝さん。

技術がたいへん進歩しまして、人があまり死ななくなりました。しかし、難病、慢性病、がん、動脈硬化による脳卒中とか心筋梗塞といった厄介な病気が目立ち、患者さんが長い間病気が付き合うケースが多いのです。そして、技術医療だけでは問題の解決にならないこともあるのです。患者さんが、最期の場面で治る保障のない治療をたくさん受けて、結果的に医者が多くの苦痛を与え、患者さんの生きる時間が少し延びたとしても、その生きる内容が大変悲惨なものになることがあるのです。

——それは、家族にとっても同じことですね。

岡島さん そこを何とか変えなくてはいけない、という発想から終末医療が始まったのです。ただ、これまでの医療の常識は「病気とことん闘う」ことでしたから、方向転換が大変むずかしかったことも事実です。

——ところで、病院の長時間待ちの数分診察が改善されませんが。

岡島さん 昔より診療に関するデータが細かく、正確になりましたから、それを重視せざるを得ない状況もあるんです。ただ、人間

医療の基本は面接 どんなに技術、検査が進歩しても

は実験動物と違って、データだけで処理されることへの不満、不安が当然出ます。検査結果だけでなく、患者さんと面接して拾い上げる数字や画像に出ないものを重視する必要があります。そうすることを医者が軽視したことが、今の医療の在り方として問われているのです。

——「インフォームド・コンセント」ということが、盛んに言われた時期がありましたね。

岡島さん 高度な医療や検査が可能となった反面、それに伴うリスクも高くなってきました。ですから、医者が病状や診療について



患者さんによく説明し、患者さんが納得した上で診療行為を行うということがどうしても必要になりました。今、ご指摘がありました

数分の診察で処理されることを解決する方法を含めて登場したのが、インフォームド・コンセントなんです。薬や手術でも治らない、だ

んだん悪くなる病気の場合どうするかです。基本的には、患者さんご自身の判断が大切なんです。

——医師の判断ではなく……。

岡島さん 医者が患者とその家族に的確な情報を提供し、患者さんがよく考えて、これからの医療や療養方法を選択するのは、インフォームド・コンセントは患者自身の選択、医師・患者

・その家族の信頼や了解のためにも必要なですね。でも、たくさんの管につながれて、モニターでのみ生が確認できるような状態の患者もいます。

岡島さん 確かに医療機器が進

歩して、かえって医者と患者の距離を遠くしている状況もあります。そういう状態を早急に改善しないと……。

——改善と言えば、看護婦さんの労働条件の問題が、何十年前から言われていますが、依然として

機械の一部のような感じですが。

岡島さん 日本の医療スタッフは欧米に比べ、四分の一とか三分の一なんです。しかも、現在の医



いう矛盾もあります。全部自費で賄うと、目の玉が飛び出るような負担になりますから、うまく知恵を出し合うしかないわけです。

——もう一度、緩和ケア病床のことに戻りますが、井田病院はどのような理念に基づいて、そのことを決断されたのですか。

岡島さん 病院には私立と公立があります。公立は税金で運営されていますから、常に市民サービスの意識を持たなくてはなりません。公立病院は、その地域を統括するような指導的な病院として、先進的医療をきちんとやっていく。

岡島 重孝 さん

おかじま・しげたか=1936年、長崎県生まれ。62年、慶応義塾大医学部卒。63年、同大医学部内科学教室入局。69年、学位取得。69～70年、フランス政府給費留学して神経学を学ぶ。73～86年、北里大医学部講師。72～89年、慶応大医学部講師。72年、川崎市立井田病院内科医長。副院長などを経て94年から同病院長。現在、藤田学園保健衛生大客員教授。日本内科学会などの認定医。著書は「養生医学全書」（共著・学研）「病気がわかる体の手引き」（監修・小学館）など多数。



同時に、社会の需要に応えたモデル事業を先進的にやる。それが井田病院の使命でもあると思います。

——緩和ケア病床は、モデル事業のひとつということですね。

岡島さん そうです。この試みが多くの病院でできるよう、近い将来、システムをつくって提示したいと思っています。この病院には幸い、緩和ケア病床の試みを「やってみよう」という職員がおり、その熱意で動き出し、試行錯誤を経て一つの計画が生まれ、それを川崎市が認め予算化してくれたのです。

——思いつきで始めたのではなく、ですね。

岡島さん ええ。だれが考えても分かる常識でした。患者さんが不安に陥ったり、不満に思う診療を受けているということは、病院の常識と一般社会の常識の間にギ

ップがあるからです。従来の病院の常識は、治らないものは切るか、最期まで苦しくても治療することでした。病院の常識が一般社会の非常識であったことを認め、一般の常識に立ち返れば、人間の最期を大切にすることは、ごく当たり前のことなんです。

——「病院の非常識」とさらりとお話しになる。医療が「当たり前」のことに立ち返っただけ」とおっしゃる。本当に感動しております。

在宅か病床か選択 できるケア体制を

す。でも、現在の四室四床の緩和ケア病床数は少ないと思いますが、岡島さん そのことを否定しませんが、この病院で緩和ケア病床

がうまくいっているのは、それ以前に在宅医療のシステムを持つていたからです。「家で死にたい」という人が圧倒的に多いのです。今後、病院として、患者さんが緩和ケア病床、在宅ケアのどちらでも選択できるようにすることが大切です。

——緩和ケアに伴って、岡島先生は「癒しの環境」「癒しの雰囲気」ということをおっしゃっていますが。

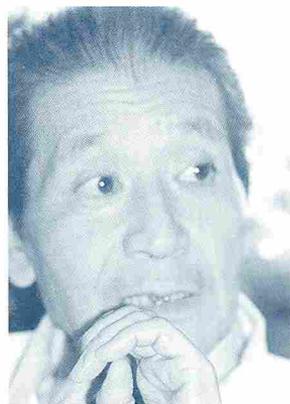
れますが、受け皿がありません、ぎくしゃくします。責任の問題、清潔不潔なことなど医療の問題がありますので、きちんとしたシステムを作って受け入れるようにしました。

——具体的には。

岡島さん 院内に市民交流室を設け作業衣、ロッカーなども用意しました。また、消毒の仕方などもお教えして、予防接種、保険加入など、病院活動に必要なことをすべて網羅して受け入れています。

——ボランティアの協力を得ての癒しの雰囲気づくりは上々の成果だそうですね。

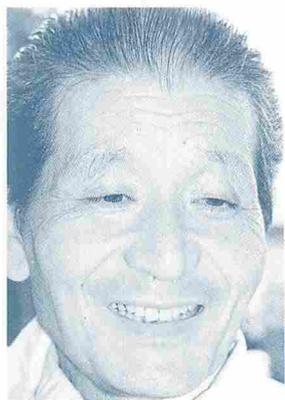
岡島さん 今まで病院といいますが、白い壁に冷たい機械という感じで、患者さんが心理的に落ち込みます。ですから、美しい花で飾り、いい匂いで気分をやわらげ、良い音楽を聴くなど五感に訴える癒しの雰囲気をつくらうと考えました。そのために、ボランティアの方々を迎えるための「市民交流委員会」という組織を作りました。「何かをしてあげたい」というお気持ちの方はたくさんおら



園芸、音楽、絵画、書、香り…

市民が協力 院内は癒しの雰囲気

「こういうことなら私も手伝える」という気持ちの広がりがある。岡島さん、そうなんです。絵画や書、写真を寄贈して下さる方、



個展を開かれる方もあり、無味乾燥な院内の白い壁がギャラリに変身しました。

「すでに、病院全体が「癒しの雰囲気」になっていくのです。岡島さん、そうです。長く通院されている患者さんも多いので、癒しの環境はすべての人に必要と思います。公的病院ですから、こうした試みを始めたら、効果と実績を示しませんと人もお金も付き

ません。ボランティアのままで終わらないで、機構として認めてもらわなくては、と思っています。

「癒しの環境が病院全体に広がるまでのご苦労、大変だったと思います。」

岡島さん 「教育と医療は、底辺を救うためにどうしても公的な支えが必要」と考えているんです。自由主義経済の原理だけで、教育と医療が任せられるとしたら、受けるチャンスのある人とそうでない人の格差が広がるばかりではないでしょう。病気によって不幸になつた人々を救うための公的病院」であるとするれば、市民の需要にどう応えるかを意識的に考え、パイロット的なことを進めることは、常識的なことと思うのです。

幼いもの、お年寄り、病人は社会的ケアの対象です。

「本当にそうですね。」

岡島さん 実は私、「命は人のものでも医者のものでなく、そ



の人のものです」とよく言うのです。死に直面したとき、最後はやはり自分で選ばれたらいいと思います。インフォームド・コンセントということで、医者が情報や判断を患者さんにお伝えしていますが、その情報も天気予報と同じで、個々の細かい点では当てにならないことがあるんです。

「あらあら。」

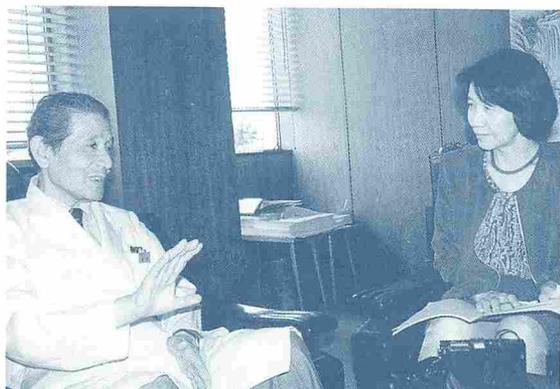
岡島さん そういう意味で私たちも大変つらいのです。結局は、ご自分の生き方、死に方についての判断の主体は、ご自分にあるという意識が必要なんです。ニーチェは「運命愛」ということをいっていますが、これは自分の運命を自分が愛さなかつたら、だれが愛してくれるのかということなんです。たとえ過酷なものであってもです。

「そうしなければ、自分の生と死が全うできない……。」

椎野 和枝 さん

しいの・かずえ=1934年京都市生まれ。同志社教育、毛利菊枝演劇研究所卒、NHK婦人学級世話人、広島女性史研究会を経て80年から川崎に住み「女性の学習情報をつなぐ会」、東洋大学特別研究会「21世紀の女性」、川崎「ぶらすI」に所属。共著は「山陽路の女たち」「テキスト 現代女性読本」。麻生区白山在住。

岡島さん その上で、患者さんと医者の中に意思の疎通があればあるだけ、医者も的確な対処が可能ですし、納得のいく判断ができます。両者の意識がそこまで達していませんと、トラブルが生じるんです。しかし、医者自身、我が身のことになれば、うろたえるんです。生死のことは、知識だけの問題ではないんです。イギリスの古いことわざに「五十を過ぎたら明日死ぬかもしれないと思つて身辺を整理しておきなさい。いつまでも生きられると思つて勉強しなさい」というのがあります。こういう大きな矛盾を持っているのが人間なんです。その矛盾を受け止めることが大事でしょうね。つまり、知識プラス教養、自覚、覚悟が大切ということです。今の教育は技術と知識ばかりではないでし



ようか。いい医者を育てるためにも、的確な判断ができる人を育てるためにも、決していい状況ではありませんね。

——医師の「人の心を診る」という大事な部分が問われているということですか。

岡島さん 福沢諭吉が「察診」ということを言っています。聴診、触診、視診とありますが、心理状態や境遇を察する診察というわけです。これは、医者の方力目標の一つでしょうね。年を取っていないのに関係なく、備わった人というのはいらんです。そういう人

に医者になってほしい。「医は慰なり」ですから。

——井田病院が、そのことを含めて「かわさき総合ケアセンター」になることを願っております。

岡島さん 総合的にケアをとりたい。医療・看護・療養に付随した社会的、心理的、経済的な問題が総合的に網羅されていませんと「あの問題はこっち、この問題はあっち」ということでは、患者さんを抱えた家族が、今日は福祉事務所、明日は病院と走り回らなくてはなりません。ですから、窓口を一つにして、そこですべてが出来るような本当の総合ケアを目指しているのです。

——かわさき総合ケアセンターのスタートは来年の十月でしたね。
岡島さん はい。きちつと機能するよう準備をしています。市の厳しい財政状況の中で、当初、われわれが考えておりました予算が大幅に削られました。第一歩が

踏み出せ、有能な若手が頑張っていることがうれしいですね。また、緩和ケア病床も二十床増えます。

——大きな実が結ぶという感じですね。実際にケアを受ける時の費用は。

岡島さん 私どもの方は、全部保険で扱えるように考えています。今までは個室に差額が出ましたが、それもなしです。

——市民に開かれた医療ですね。



岡島さん 世界一の長寿国であるだけに課題も大きいんです。これからは国民の自覚、自主性も問われるんです。

——介護保険制度についてのお

考えをお聞かせ下さい。

岡島さん 最低の部分を救うだけのものとして、あてにしています。総合ケアでやっていく部分には、医療費よりこちらが頼りです。早くスタートさせてほしいですよ。介護保険で扱う部分だけが必要とされている人がたくさんいるんです。問題があることは知っていますが……。

——岡島先生は厚生省が作り出した「寝たきりゼロへの10か条」の策定委員でしたが、あの冊子はどうのように活用されているんですか。

岡島さん 全国の市町村の医療教育に使われています。決してむずかしい内容ではありませんから、今は、国民の常識になりつつあります。要は、自分自身の体と頭が相談できるような訓練をすることで、体のいうことをちゃんと聞く頭を持つことですよ。

死の題

患者—自覚、覚悟も大切
医者—医は慰なり実践を

構成／富樫 恭子
文責／田中 圀

◇ お願い 「いまを話す」についてのご意見、ご感想をはがきか、封書でお寄せ下さい。

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生かす



親子で遊び心開く 対話は体験もとに

広げている。同会の愛称は「コアラ」。母親十七人、乳幼児十三人が会員だが、だれでも参加できる開かれた活動をすすめている。

ある水曜の午前、中原市民館を訪れると、初参加者十三組を含む七十人の親子が集まり、子供たちが古新聞を破り、会場は千切った新聞紙でいっぱい。それを投げ合う子や紙のなかを泳ぐ仕草をする子が目を輝かせ、はしゃいでいた。その紙をピンク、青、緑のビニールのごみ袋に詰めボールがわりにする。歓声を上げ、キック、飛び跳ね、かけ回る子供たち。大勢の子供が集まり、身近なモノを工夫すれば、楽しく遊べるのである。

遊びの中で心が打ち解けた後は、母親が四人ずつに分かれての話し合い。外国人の母親は、言葉の違いや生活の不安をさらりと話す。笑顔で応じる日本人の母親。食事をしない子供のことや健診を受ける時の注意などについての失敗・成功の経験談など話は尽きない。

「フィリピンの母親が、よその子を我が子のようにひざの上に乗せ、あやす姿に愛情を感じた」「タイ人から家庭料理『トムヤムクン』の作り方を教わり家族に喜ばれた」

というように交流を通して学び、各国のあそび歌を一緒に歌うなどして楽しむ同会に、「一方通行」という言葉はない。

「コアラ」の発足は今年の一月。同館主催の子育て交流集会終了後、有志が集まりスタートした。活動は第一と第二水曜日の月二回。

フィリピン人のジエーナ真辺さん(28)は、「会に入り、日本語がうまく話せなくても、日本人に話し掛けられるようになりました」とにっこり。

台湾出身の鄭雅文さん(31)は「日本の奥さんから、子供の歯磨きのやり方を教わり、とても役に立っています」と笑顔。

島田直子さん(30)は「子供が外国の人と交流して、偏見を持たないで育って欲しい」と話す。

米沢代表は「我々の親切心が、外国で差別になることもあり勉強になります。楽しく交流できるので、子育て中の方に限らず、みなさん気軽に参加して下さい」と呼び掛けている。

同代表宅は中原区今井西町一五八の二、☎(7202)70001。

異文化遊び交流の輪が広がる

日本に住むフィリピン、台湾、タイ、韓国・朝鮮、中国などの出身の母子と日本人の母子が、異なる文化や習慣を率直に話し合い、遊びも取り入れ交流する「中原国際子育てひろば」(46)は、「差別、偏見のない地域社会を」と、仲間づくりの輪を

中原国際子育てひろば

文 / 小誌・山本綾子
カメラ / 小誌・菅原純子

はりきってます グループ紹介

歴史めぐりを楽しむ

川崎史游会

それぞれの地名や神社の木、路傍の石にも埋もれたロマンがあると、ふるさと再発見”を楽しむ「川崎史游会」は山沢武夫代表(64)ら二十八人。毎月第二日曜

に、地域を歩きながら昔を学んだり、中原区の総合自治会館で「元気が出て、次が待ち遠しい学習」や「その地がもつと好きになる学び」をしている。

この日は、自分たちが長年住んでいる「川崎の原点を探ろう」と、野川神明社・影向寺・星王山能満寺・橋樹神社・富士見台古墳・子母口貝塚を一日かけて歩いた。

武蔵小杉駅前で山沢会長が「車の多い道の横断が二カ所あります。ゆっくりいきましょう」とあいさつ。同会長が下見をして作成した「だちばなの散歩道」のプリントが配られた。バス停・影向寺で下車し、話しながら二十分間歩き野川神明社に立ち寄った後、影向寺の安置堂に入る。厳粛な雰囲気

漂う。正座をし木彫の薬師如来像を見上げる。国指定重要文化財。左手に薬つぼを持つお薬師様は、生きている間にお世話になる仏様。

木や石のルーツ探り
発見と感動の連続



薬師如来は十一支の神に守られているが、昔から日本では十一支は時刻と方角を表す。いつでも、どこからでもお願いできる仏様です」と穏やかな口調の加藤慶裕・副住職。野川周辺に影向寺の薬師如来を守る十一支の寺があり、十一の神様が奉られていた。小杉にある西明寺には戌の神がいると説明。会員は「本当にいいお顔の仏様で

すね」と薬師如来像のそばに少しでも長くいたいようす。境内では「これが乳出しのイチヨウの木」ね「前に来たときより、雰囲気が変わったみたい」とおしゃべり。古文書に詳しい山沢会長はお堂脇の句碑の説明。杉村敦子さん(64)は「かわさき文化財読本」を取り出し調べる。明るく研究熱心な会員たち。

同会は二十一年前、産業文化会館(現・教育文化会館)主催の歴史講座の受講生で発足した。

夫を介護している諸橋ハルイさん(68)は「この日は、子供に家に来てもらい参加します。発見が楽しく、孫に「歴史のことはおばあちゃんに」と言われます」。

中原区に住む加山正二さん(84)「地形が細長い川崎ですが、見たいものがあれば麻生区へも行きま

す。楽しむには元気でないと」。飯塚幸子さん(57)は「友人に誘われて入り、一緒に楽しく学んでいます。皆さん本当に歴史好きで熱心です」と話す。

連絡は宮前区鷺沼四の七の二二
(0660)25050の杉村さん。

文 / 小誌・井上徳子
カメラ / 小誌・山本綾子

仲間と楽しむ

学び

活動する

生活を楽しむ

講演会

ダイオキシンを考える

ベトナム戦争で、米軍が空中散布した枯れ葉剤の影響による異常胎児の出生は、今なお世界に衝撃を与えている。その枯れ葉剤の原料がダイオキシンの。今、日本各地のごみ焼却施設から排出されるダイオキシン濃度は、他の先進国に比べ十倍以上とが。九月の「かわさき市民アカデミー学園祭」で「経済と環境」コースの会員が、市民公開講演会「ダイオキシン問題を考える」を開いた。「止めよう！ダイオキシン汚染関東ネットワーク」事務局長の藤原寿和さんの講演の深刻な内容に聴衆の顔がこわばった。講演を再現する。

他人事か！ベトナムの異常胎児

迫る 食からの人体汚染

ダイオキシンとは、ダイオキシンは、ポリ塩化ビフェニール(PCB)と同じ仲間の有機塩素系化合物。ダイオキシンと似た仲間に「ダイベンゾフラン」があり、最近、PCBの中でも毒性の強い「コプラナーPCB」を他の二つの化合物と総称して「ダイオキシン類」という。

毒性、サリンの二倍、ダイオキシン類のうち「2、3、7、8-四塩化ダイオキシン」は、サリンの二倍、青酸カリの千〜一万倍の毒性があり、八十五グラムで百万人を殺傷できる。ダイオキシンはヒトに対して発がん性があり、生殖機能、神経伝達機

能、代謝機能などに悪影響を及ぼす内分泌攪乱物質。近年、先進国の女性の間で子宮内膜症患者が急増、男性の精子の数の半減など、さまざまな生殖障害が出ており、ダイオキシン類の影響との見方が強い。だが日本では環境庁が今年から研究を始め、七月に中間報告書が出されたばかりで、明確な安全基準はまだない。

最大の発生源はごみ焼却。ダイオキシン類は塩素化合物の燃焼によって生成され、発生源の九割が廃棄物の焼却。日本の市町村の一般廃棄物の焼却炉数は千九百十六施設だが、その他の民間の産廃物焼却施設や学

校、家庭の小型焼却炉数は把握できず十数万カ所と推定。これらの施設には、排ガス除去装置がなく、高濃度のダイオキシンが排出されている可能性がある。このように狭い国土に多くの焼却施設がありながら、安全基準が緩いため、日夜ダイオキシンが吐き出されている。全国のごみ焼却施設から排出されるダイオキシン量は、測定データがなく分からないが、摂南大学薬学部の宮田秀明教授らの試算では年間十五キロ。この量は、ベトナム戦争で米軍が散布した枯れ葉剤百八十キロに匹敵する。この状態が十年続けば、ベトナム国土並の汚染になる。

食物を通じて体に蓄積 排出されたダイオキシンは、雨に溶けほりとして地面に落ち、野菜の葉に付着したり、根から吸収される。ダイオキシンを含んだ水が川や海に注がれ魚介類の体にダイオキシンが蓄積される。汚染は野菜、米、肉類、牛乳などほとんどの食品におよぶ。食物を通じて体に取り込まれる割合が九割。ダイオキシンは、生体内では脂肪に蓄積されやすいので母乳に多く含まれる。母乳中のダイオキシン濃度は、日本人が世界一高レベル。

ごみ焼却施設からの排ガス中のダイオキシンに関する法的な排出基準はドイツ、オランダ、スウェーデン

は一立方メートル当たり〇・一ナノグラム。日本では運転管理上の目標値が〇・五だが法的責任はない。

焼却をやめて資源循環処理へ 厚生省は、三百トン以上の大型焼却施設への補助金と、ごみ処理の広域化の方針を打ち出した。二十四時間連続稼働で、ダイオキシンは〇・一になるとしているが根拠が希薄だ。これは、大型化炉へ誘導するための法的措置だ。今後は広域化を撤回するよう運動したい。

今後のごみ処理は「焼却」ではなく「脱焼却」である。あらゆるごみを資源と考へ徹底分別し、地域社会の中で資源循環型都市構造をつくり、それを日本全体の産業政策にする必要がある。実際に埼玉県久喜市で、プラスチックを徹底分別、焼却しないようにしたところ、ダイオキシンの数値が九十から七に下がり、大磯町でも三百七十が四十に減った。

今後は、ごみの排出抑制や、製品の再使用・再生利用による減量化・資源化、徹底した素材別リサイクル▽塩化ビニール製品の生産、使用の禁止・抑制、代替化▽生産者責任の強化▽環境保全・資源循環型の産業構造への転換——の政策の推進と、消費者の利便性追求型生活スタイルを見直すことが大切である。

(取材・菅原純子)

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

①わくわく実験教室②
やさしい先端技術講座◆東
芝科学館①は12月13日(土)
10時と13時から、「夢の壁掛
けテレビ」と題し、原理、
仕組みについて実験を交え
て説明②写真は前回②は



12月12日(金)10時と13時半か
ら、「電子マネー」をテーマ
に、現金を使わない安全で
快適な商取引や金融機関の
社会的な環境の変化を解説
いづれも無料。各250人
申し込みは☎(549)2

市外局番のないものは044

学習・文化情報

200。川崎駅からバス。
「朗読奉仕入門講習会◆
市北部身体障害者福祉会館」
来年1月31日～2月28日の
毎週土曜10時から、全5回。
視力障害者のために、図書
や新聞記事などをテープに
収録するための学習。無料。
20人(抽選)。申し込みは12
月16日(火)～1月16日(金)に往
復はがきと同講習会希望、
住所、氏名、☎を記し下2
1-3 高津区溝口1-7-2の3、
同館。☎(811)663

「多色刷り木版画年賀状
を作ろう◆登戸ドレスメー
カー学院」12月7日(日)13時
から。下絵から刷りまでオ
リジナル作品を作る。講師
は日本版画協会の前田恒憲
さん。対象は初心者。受講
料・材料費各千円。先着20
人。申し込みは午前中に☎
(911)2221の同院。
向ヶ丘遊園駅下車。

①建築と日本文化②ま
ゆ玉団子作り◆日本民家園
①は来年1月10日(土)13時半

から。「インド仏教建築の原
像」をテーマに関口欣也・
横浜国大教授が話す。千円。
40人(抽選)②は来年1月
11日(日)10時から。民家の小
正月を体験。800円。20人
(抽選)。小学低学年は保護
者同伴。申し込みは①12月
22日(月)②19日(金)までに往復
はがきに住所、氏名、☎、
講座名、講座日を記し下2
1-4 多摩区枳形7-1-1、
同園。☎(922)218

「中級古文書講座」古文
書から見る川崎の歴史◆市
公文書館」来年2月7～28
日の毎週土曜13時半から、
全4回。講師は落合功・中
央大講師。対象はある程度
古文書を読める人。教材費
込み3千円。30人(抽選)。
申し込みは1月9日(金)まで
に来館か往復はがきに住所、
氏名、年齢、職業、☎を記
し下2-1 中原区宮内4の
1-1、同館同講座係。☎
(733)3933。

「中級写真講座」ステッ

ブアップ・フォトグラフィ
◆市市民ミュージアム」
来年1月24日～2月28日の
毎週土曜13時から、全6回。
モノクロ印画紙を現象して
組写真を作る。講師は写真
家・伊奈英次さん。対象は
暗室技術を習得している人。
受講料1万円、材料費は実
費。16人(抽選)。申し込み
は1月7日(水)までに往復は
がき(1人1枚)に住所、
氏名、☎、返信用にあて名
を記し下2-1 中原区等々
力1-2、同館・同講座係。
☎(754)4500。

「点字入門講座◆川崎授
産学園」来年1月19日～2
月23日の毎週月曜10時から
全6回。点字の基礎を学ぶ
とともに、視力障害者から
実情を聞き、拡大写本、朗
読ボランティアもする。対
象は市内在住者。2千50
円。25人(抽選)。申し込み
は1月4日(日)までに往復は
がきに住所、氏名、☎を記
し下2-15 麻生区細山1-2
09、同園。☎(954)

500。新百合ヶ丘駅か
らバス。
「女性セミナー」女の危
機管理術◆宮前市民館管生
分館」来年1月23日～3月
20日の毎週金曜10時から、
全9回。家族や自分におこ
る危機状況への心備えと、
女性の生き方を考える。無
料。先着40人。保育あり。
申し込みは1月8日(休)10時
から☎(977)4781
の同館。

①油彩画(人物(着衣)
を描く②花紀行ニュージ
ランドツアー付講座◆玉川
大学」①は来年1月17日
3月21日の毎週土曜14時か
ら、全10回。骨組み・肌の
色など指導。講師は廣畑正
剛・一水会会員。モデル代
込み6万5千円。先着15人
②は来年2月7日(土)、3月
7と14日(土)13時半から、同
大学で講座。2月14日(土)か
ら8日間はツアー。講師は
松井孝・同短大教授。受講
料・ツアー料、材料費込み39
万8千円。1月10日(土)13時

11

学習・文化情報

参加したい催しがある

半から、事前説明会。申し込みは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。

◆「ボランティア養成講座」

◆「日本民家園」来年2月10日～3月31日の毎週火曜10時から、全8回。古民家の解説、いろいろの火だき、資料整理など基礎を学習。対象は、65歳までで講座修了から5年間、毎月1回、土・日曜に活動できる人。無料。60人(抽選)。申し込みは1月17日(土)までに往復はがきと同講座申し込みの希望、住所、氏名、年齢、☎を記し〒214多摩区枳形7の1の1、同園。☎(922)2181。



「冬休みイベント①キャンドル作り②ゲーム③オリジナルで楽しもう④アニメ映画◆東芝科学館」①12月25日(木)。定員各回40人。要予約。②12月26日(金)。ピ

ンゴとボーリング。先着順。③1月6日(火)。先着各回50人④1月7日(水)。「ドタキヤ

ン・パパ」上映。先着各回150人。時間はいずれも10時と1時半。無料。申し込み☎(549)2200の同館。川崎駅からバス。

「川崎保育のつどい◆中小企業・婦人会館」12月7日(日)10時から。子育てにかかわる人が語り合う。500円(保育は別途500円)。問い合わせ☎(233)3518の川崎市職労民生支部の佐藤さん。

「労働相談会◆川崎労働センター」12月8日(月)、9日(火)9時～19時。解雇や賃金などのトラブル、就業規則・労働条件の質問に弁護士、職安・労働センター職員が応じる。秘密厳守。無料。相談は来所または電話☎(722)0171の同センター。

「雪囲い展示◆日本民家園」10月～3月、山田家と菅原家。防寒のために茅で民家を覆う。無料(入園料は必要)。問い合わせ☎(922)2181の同園。

「麻生地域セミナー①ごみのないまちづくり②旧津久井道をたどり歩く◆麻生

市民館周辺ほか」①は12月13日(土)10時～15時。市民館第一会議室集合。ポイ捨て条例を学び、ごみの現状を見ながらまちを歩く。講師は高子昌美・市環境局減量資源課長。申し込みは12月6日(土)まで②は来年1月11日(日)9時半～15時。集合は小田急登戸駅改札口。登戸

生田・読売ランド・弘法の松を歩く。講師は新井福之助・鷗友学園専攻科講師。申し込みは1月4日(日)まで。いずれも40人。資料代300円(保険料含む)。弁当・雨具持参。小雨決行。申し込み☎(951)1300の同館。(12月28日(日)～1月3日(土)は休館)。

「マルセ太郎のスクリーンのない映画館◆川崎能楽堂」来年2月21日(土)14時開演。黒澤明監督映画「生きる」をマルセ太郎が笑いと感動の話芸と絶妙なパントマイムで再現。全自由席3千円。申し込みは12月10日(水)10時から、☎(222)8821の市文化財団。

「①星を見るタペ②星の撮影教室◆市青少年科学館

①は12月6、13日(土)17時半・月・土星・M31を観望。雨曇り時はプラネタリウム②は来年1月23日(金)19時、スバルを撮影。雨天中止。一眼レフカメラポデーターなど持参。定員14人。無料。申し込みは①当日直接来館②12月19日(日)9時から☎(922)4731の同館。

「①生田緑地ミニ観察会②自然観察会◆生田緑地ほか」①は12月6日(土)13時半。植物の観察。雨天決行▽13日(日)9時、野鳥の観察。雨天中止▽14日(日)13時半、地層の観察。雨天決行。凶鑑ルーベ、双眼鏡など持参②は来年1月10日(土)9時～14時、多摩川の冬鳥を観察。集合場所はJR南多摩駅。20名。凶鑑、雨具持参。いずれも無料。申し込みは①当日、市青少年科学館②12月12日(金)9時から☎(922)4731の同館。

「子どもの幸せを考えるつどい◆麻生市民館」12月6日(土)13時半～16時、「心の教育」今、私たちにできることは。地域社会の教育を考える。ヴィヒャルト十佳

「アンサンブルウィーン



「アンサンブルウィーン」12月17日(水)19時開演。シューベルト「グラーツ」ワルツ▽ヨーゼフ・シュトラウス「古きよき時代」ほか。演奏はパウル・グツゲンベルガー、ライモンド・リッシー(バイオリン)、ペーター・ゲッツェル(ピオラ)、ヨーゼフ・ニーダーハンマー(コントラバス)。4千円。問い合わせ☎(812)6090の同ホール。溝ノ口駅下車。

「ボレロを楽しむ会◆市教育文化会館」12月21日(日)16時開演。少年らのピアノリカや手作り楽器、中高生のブラスバンド、社会人の吹奏楽、父母も参加のラヴェルの「ボレロ」合奏▽写真は昨年、佐藤眞「大地讃頌」の合唱。無料▽「ボレ

「ボレロを楽しむ会◆市教育文化会館」12月21日(日)16時開演。少年らのピアノリカや手作り楽器、中高生のブラスバンド、社会人の吹奏楽、父母も参加のラヴェルの「ボレロ」合奏▽写真は昨年、佐藤眞「大地讃頌」の合唱。無料▽「ボレ

学習・文化情報

ききたい音楽がある

口を楽しむ会」に参加し
せんか。練習は12月14日(日)
9時半から、市立養護学校



(21日)13時半から本番前
に総練習)。合唱か演奏でき
る楽器で参加。問い合わせ
は☎(933)8107の
同会事務局の金柄さん。

①オペラ ②シンフォニ

ックウインドオーケストラ
演奏会◆洗足学園大学前田
ホール」①は12月14日(日)14
時開演、「ベンゼルとグレイ
テル」。指揮は秋山和慶、
演出は鈴木敬介。一般3千
円、学生千500円②は16日
(火)18時半開演。千円。☎

(856)2981の同大
学演奏部。溝ノ口駅下車。

「電子オルガン・クリス
マスコンサート◆品川区立
総合区民会館 きゅりあん」
12月10日(水)18時半開演。2
千円。問い合わせは☎(8

56)2981の洗足学園
大学演奏部。JR大井町駅
下車。

「クリスマス・コンサ
ート◆多摩市民館大ホール」
12月6日(土)14時半開演。ピ
アノ チャイコフスキー

「トロイカ」、リスト「愛の
夢」▽歌「アヴェ・マリア」
「オーホーリーナイト」ほ
か。ピアノは内川裕子、中

村望「写真」、メゾソプラ
ノは福田香津代。千円。(保
育・母子席・障害者席は要
予約)。問い合わせは☎(9
46)2859のままとん
きつず。



「クリスマスコンサート

◆東芝科学館大ホール」12
月19日(金)18時半開演。東芝
ライドオン・ジャズ・オー
ケストラ。無料。先着25

0人。申し込みは☎(54
9)2200の同館。川崎
駅からバス。

「女声合唱団 ゆり演奏
会◆カザルスホール」12月
7日(日)14時開演。「青い麦」

ほか。麻生、多摩の市民が
歌う。指揮は武田雅博、ピ
アノは渕上千里。全自由席

千200円。問い合わせは☎
(954)7501の田中
さん。お茶の水駅下車。

「メサイア公演◆①サン
トリーホール(赤坂駅下車)

②県立音楽堂(桜木町駅下
車)①は12月14日(日)13時半
開演。2千円②は12月17日
(水)18時半開演。千500円。
指揮は田中一嘉。演奏は昭

和音楽大学管弦楽部、同合
唱団、昭和音楽芸術学院合
唱団。問い合わせは☎(9
53)1230の同院。

「クリスマスコンサート
◆玉川学園講堂」12月19日
(金)18時開演。長南牧人のチ
エロ独奏▽島田祐子の歌と

おしゃべり。一般3千円、
ペア5千円、学生2千円。
申し込みは☎0427(3

9)8895の同大学継続
学習センター。玉川学園前
駅下車。

「歌三線と舞―沖繩の小
正月◆川崎能楽堂」来年1
月24日(土)14時。琉球宮廷芸
能の「初春の宴」公演。島

袋正雄の歌三線の独唱と沖
縄県立芸術大学院生の琉舞。
全自由席3千円。問い合わ

せは☎(222)8821
の市文化財団。

「かわさき市民第九コン
サート97◆市教育文化会館」
12月14日(日)15時半開演。97

かわさき市民第九交響楽団
と同合唱団。指揮は守谷弘
遠藤正之。独唱は山田綾子
(ソプラノ)、須永尚子(ア
ルト)、宗孝夫(テノール)、
大久保真(バリトン)。全自

由席千円。問い合わせは☎
(222)8821の同実
行委事務局。

「冬のこども劇場◆県立
青少年センター」12月21日
(日)14時開演、「気のいいイワ
ン」と不思議な小馬」。劇団あ
とむ。奇想天外な友情冒険

物語。ロシア楽器「バララ
イカ」の演奏。手話通訳あ
り。小学生以上。全指定席

千円。詳細は同センターの
舞台芸術部企画課☎045
(241)3131内線3

411。桜木町駅下車。

「宮前区に生活ホーム設
立の支援チャリティーコン
サート◆宮前市民館」12月

9日(火)19時開演。曲目は蘇
州夜曲、埴生の宿、クリス
マス・ソング他。出演は巫

謝慧(胡弓)▽アンサンブ
ル・サウルス(ヴォーカル
・クワルテット)▽村上由

紀(ピアノ)。全自由席3千
円。問い合わせは☎(85

5)0111の鷺沼ミュー
ジックセンター。宮前区精
神保健と福祉を考える会
(会長・長谷川和夫聖マリ
アンナ医大校長)ほか主催。
当事業団など後援。

学習・文化情報

みたい絵がある

〔劇団四季ミュージカル
『夢から醒めた夢』◆市教
育文化会館〕来年3月6日
(金)18時半開演。赤川次郎の
ファンタジックミステリー



を舞台化し写真右は前回。
演出は浅利慶太。作曲は三
木たかし。S席9450円、
A席7350円、B席52
50円、C席3150円。
問い合わせは☎045(9
03)1521の同劇団。
〔東京劇団公演◆朝日
生命ホール〕12月15日(月)19
時開演。三国志「古城会」、
楊貴妃の物語「貴妃醉酒」、
日本で初上演「対花槍」。出
演は張紹成ほか。S席4千
800円、A席3千800円。
問い合わせは☎(935)

5923の同劇団。新宿駅
西口下車。

ギヤラリー

〔スナック喫茶琴〕12月
31日(水)まで「徳元・山口・
福士 写真3人展」。問い合
わせは☎(544)050
7。鹿島田下車。

〔中村正義の美術館〕12
月7日(日)まで「山下菊二と
中村正義」展。シュールレ
アリスム絵画作家の山下菊
二の原画と正義の人物画
「ピエロ」写真1ほか40
点。一般500円、学生300
円、小中生200円。12月8
日(月)〜来年2月28日(土)まで
冬季休館。☎(953)4
936。読売ランド前駅か
らバス。



〔市民ミュージアム〕
12月2日(火)〜来年3月下旬
漫画動物園「まったくZOO

0200しいやつらだ」。
動物を主役にした作品▽12
月2日(火)〜来年3月15日(日)
オリンピック・ポスター展。
アンディ・ウォーホル、ロ
イ・リキテンスタインほか
60点▽来年2月1日(日)まで
パウハウスの写真。ドイツ
・ワイマールにある美術工
芸学校の教師と学生の写真
300点。▽来年2月15日(日)
まで「写真の楽しみII」。時
代の顔、風景の変容など、
テーマに分けた同館のコレ
クション120点。一般7
00円、小〜大学生300円。
☎(754)4500。

〔ギヤラリー幸〕12月5
日(金)〜17日(水)「年末恒例
『寿』色紙展」。新年用の美
しい色紙の即売展。木曜は
休廊。☎(555)818
1。川崎駅西口下車。

スポーツ

〔寒げいこ◆石川記念武
道館〕1月9日(金)・10日(土)
10時〜20時半と11日(日)10時
〜15時。剣道、柔道、空手
合気道、なぎなた、少林寺
拳法を時間別けいこ。対象

は小学生以上。剣道百人、
その他は合わせて50人(抽
選)。無料。申し込みは12月
7日(日)10時より同館▽1月
11日(日)12〜12時半、鏡びら
き(おしるこ付き)。無料。
小学生以上。当日直接来館。
問い合わせは☎(544)
0493。

〔健康・体力改善教室◆
市体育館〕来年1月9日
3月20日の毎週金曜14時半
から、全11回。4千円。15
歳以上。45人(抽選)。申し
込みは12月19日(金)14時より
同館。問い合わせは☎(2
00)3255。

〔①ジャズダンス②親子
体力づくり◆高津スポーツ
センター〕①は来年1月7
日〜3月18日の毎週火曜18
時半から、全10回。4千円。
15歳以上。40人(抽選)。申
し込みは12月10日(水)19時よ
り同館②は来年1月14日
3月25日の毎週水曜10時か
ら、全10回。3千円。対象
は3・4歳と保護者の30組
(抽選)。申し込みは12月17
日(水)14時より同館。問い合
わせは☎(813)653
1。

ミニニュース

詩情豊かなソプラノ
渡邊礼子リサイタル

芸術村あすなる15周年
「芸術村あすなる」(安部
順子音楽監督)が、創立15
周年を記念して10月下旬、
「渡邊礼子ソプラノリサイ
タル」風、ひかり、そして
今、を青葉台駅前のフイリ
アホールで開いた。

渡邊さんは「からたちの
花」初恋など日本歌曲や
イタリヤ歌曲、オペラアリ
アなど17曲を熱唱。つやの
ある高い声がホール全体に
響く。ピアノ伴奏の佐々木
えり子さんとの息もびつた
り。特に日本の曲は、詩に
よって顔の表情が豊かに変
化する。発声や旋律だけで
なく、言葉を大切にする音
楽への姿勢が伝わる。ピア
ノに片手を添えて次の曲へ
感情移入にも新境地をみせ
た。

アンコール曲の1つに
「赤とんぼ」を選び、「みな
さんも一緒に歌って下さい」と
呼び掛ける渡邊さんは、

感激の涙を浮かべる。観客からあたたかい拍手がいつまでも続いた。

当事業団などの後援。

また、「少年の祭典」ボレロ」は、12月21日16時から市教育文化会館で開催する「学習・文化情報」「ステージ」に関連記事Ⅱ（Y）。

悲しい姉妹愛に

聞き入る聴衆ら

話芸写の語りLIVE
「話芸写」（中原区、北川智繪主宰）の「語りLIVE'97」が、10月の2日間、新宿Fuであり、青年から中年までの幅広いファンが人情話の語りを楽しんだ。「ほうちよかけたか」

（さねとうあきら・文／井上洋介・絵／文溪堂）は、悲しい姉妹愛がテーマ。さねとうさんが、絵本を話芸写の語り用に書き下ろした創作民話である。

妹・カヤガ、ねえちや・ヨネを刺し殺す場面で、妹役の麻柄諭子さん、姉役の山木佳子さんは目に涙を浮かべ、唇を震わせながら語る。風の音や鳥の鳴き声が、物語を盛り上げる。つばを

飲み込み、胸に手をあてる聴衆。ナレーターの矢澤幸治さんの静かな口調で物語が終わると、会場から惜しめない拍手があった（Y）。

伝統美の縫・織・染

50の手習いで展示会

仲良し主婦の3人

藍染めや絞り染め、それに、もみじ・波・鶴を模様にした型染め、平織りなどの作品展「縫う 織る 染める三人展」が、10月中旬の4日間、高津市民ギャラリー（ノクティビル内）であった。

会場を訪れた市民たちは、展示品のテーブルクロス、壁掛け、パッチワークの手提げバッグ、スリッパなどの日用品が、日本の伝統的な技と、朱・藍など色彩によつて芸術的雰囲気漂わせていることに目を奪われていた。

3人展を開いたのは、多摩区などに住む仲良し主婦の吉川育子さん、上條恵美子さん、平野公子さんで裁縫、織り、染色を分担。仕事や家事をこなしながら、こつこつと作った。

3人がこの伝統技に魅せられたのは、50歳になつてからで、「これからも気長に続けて、いつになるか分かりませんが、また、作品展を開きたい」と話す（Y）。

身近な演奏会に

目を輝かせる児童

ろうきんの主催

秋晴れの10月、白山小体育館で「第2回ろうきん音楽を楽しむ会」があり、親子連れやお年寄りら約400人が室内楽や合唱を聴き、楽しいひとときを過ごした。出演は、人と自然の共生を目指す「かわさきフレッシュユアンサンブル」と「麻生童謡をつたう会」。

前列の小学低学年の児童は、間近で見えるバイオリンやチェロを食い入るように見る。ピアノ連弾「水族館」は、水の流れを表現した旋律を指の爪で鍵盤を滑らせながら弾くと、児童たちの目が、新鮮な驚きでひとときを輝いた。

また、オーボエ奏者が、風船を膨らませるような表情で背筋を曲げたり伸ばしたりして吹き、音を響かせ

ると、そのまねをする女の子も。

身近に音楽を感じさせるアットホームな演奏会は、神奈川県労働金庫新百合丘支店（豊島育夫支店長）などの主催（Y）。

市民手作りの映画祭

「邦画って面白いんだ」

10月中旬の5日間、市民が企画・運営する「しんゆり映画祭」が麻生区のワナー・マイカル・シネマズ新百合ヶ丘などであった。3年目の今年は、日本の若手監督作品を集め、22本の映画上映や座談会はほぼ満席になった。座談会「世界に羽ばたく日本のヤングシネマ」で、映画「おかえり」の篠崎誠監督（34）が主人公が小高い丘にたえず印象的なラストシーンについて「僕が大学時代に見た情景」と製作の裏話を披露。また「海外の映画祭で日本映画をPRするブースがなかったの、お金を集めてブースを作った」と宣伝に消極的な日本映画界の体質を批判した。終了後、他の若手監督と一緒に、映

画製作を目指すファンらと話し合い、若者から「個人的に話せてうれしい。今後の日本映画に期待する」との声が挙がった（E）。

視力障害者も鑑賞

市民団体が解説・送迎

同映画祭の「うなぎ」上映では、視覚障害者8人が同映画館に足を運んだ。副音声イヤホンへの解説があったため、麻生区の朗読ボランティアグループの「さんざし」（武村佳子代表）が呼びかけ、脚本も担当、映画祭スタッフとの協力で実現した。往田けい子さんは、外出援助ボランティアの福島正美さんと中央区から来た。「映画館に来たのは初めて。情景が分かり夢中になった。作品を選べるようになれば…」と期待を話す。「さんざし」の沢野香さんは「他の映画会でもやっていきたい」と意欲的。同映画祭は今後も副音声ガイドや車いす介助、送迎サービスを実施するという（E）。

編集後記

一九九七年も残すところ約一カ月▼今年の新春号の編集後記で、丑年にちなんで「草木も眠る丑三つ時」という言葉もある▼丑三つ時は、いまの午前二時ごろの真夜中で、市民のくらしが真っ暗になる年との予感につながる」と記した▼この予感不幸にして的中し、弱者だけでなく、多くの勤労者の生活に暗い影を落とした▼消費税が三％から五％に引き上げられ、次に医療費が二倍以上の負担になった▼通院して薬をもらおうと最低で千円札が二、三枚財布から逃げていく▼私鉄運賃などの公共料金も値上げされ、消費とは無関係なところの支出が増えた▼「サービス労働は多くなったが、収入はマイナス」というサラリーマンも多い▼二年も超低金利政策を続け、庶民の懐を冷やしておいて、国のお偉いさんが「個人消費が予想以上に落ち込んだ」もないものだ▼今年、景気のいい顔をしていたのは政治家と総会屋、それに：▼国会は、共産を除く総与党化で、国民生活に重大な影響を及ぼす法案が、まともな論議もなく成立する▼「自社対決の五五年体制のほうがマシ」との声もある▼「政治不信をただすため政治改革を」で導入された

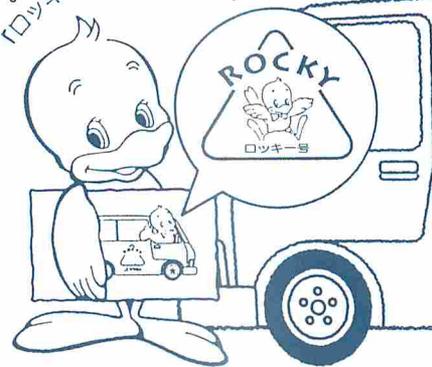
小選挙区制だが、離合集散の政党と政治家が目立つだけ▼こうした状況の中、全国的に注目を集めた十月二十六日投・開票の宮城県知事選は、「脱政党・無党派」を掲げた現職が、中央直結の「保・保」の新人に圧勝した▼地方自治の精神からすれば、地方政治に中央の物が口出ししてそれに迎合する中央直結候補が選挙に強い状況こそが異常なのだ▼この「政党不信の今日的状況」は、川崎市長選でも鮮明だった▼共産を除く各党相乗りの現職、高橋清氏が「辛くもV3」（読売新聞）で、新人で共産の推す土屋恒篤氏が四万票差まで猛追した▼土屋氏陣営が国政の現状と市政の問題を巧みに関連させて訴えることに重点をおき、一定の説得力を持った▼一方の高橋陣営は、「相手陣営の激しい批判を『相手にしない』といい、実際は何もしなかった幹部がかなりいた」（事情通）など、寄り合い所帯のもろさがあった▼選挙では、各陣営が政策の優劣を競う、同時に相手陣営を批判し応戦する▼両陣営が「有権者が投票の際、判断材料である具体的政策と相手批判をバランス良く提供した」と言い切れるのか▼「選挙の終わりは、政治の始まり」である▼今後、市民と向き合う政党がどこかが試される▼市議選も遠くない（田）。

新登場

ふれ愛サポート

定期預金 ロッキー

みんなの街に介護カー「ロッキー号」を走らせよう！



みなさまよりお預りした資金を活用し、1999年より介護カー「ロッキー号」を購入。かながわボランティアセンターを通じて、県内の福祉団体等に寄贈していきます。

ふれ愛サポート定期預金「ロッキー」の内容

お預入れ期間 1年	金額 50,000円以上
定期預金の種類 スーパー定期(300)、大口定期	金利 通常の店頭表示金利でお預かりします。

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000 代

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園